

# ヨコハマタイヤ・マニュファクチャリング・タイランド CSRレポート

**事業内容:** トラック・バス用タイヤ、小型トラック用タイヤ、乗用車用タイヤの生産・販売  
**敷地面積:** 418,029m<sup>2</sup> (工場)、1,690,000m<sup>2</sup> (テストコース)  
**従業員:** 1,617人 (2011年3月末現在)  
**所在地:** 7/216 Moo.6, Amata City Industrial Estate, Tambol Map Yang Porn, Amphur Pluakdang, Rayong Province 21140, Thailand  
 TEL : +66(38)650-350~63

**相談・苦情などの受付窓口:**

Human Resources and Administration Dept.  
 TEL : +66(38)650-350~63 FAX : +66(38)650-319



## 社長ご挨拶



水本 康博

当社は横浜ゴムの中期経営計画 (GD100) において、海外における総合タイヤ (TBS、PC/LT) の生産拠点にすべく2004年からタイ国において事業をスタートしております。また2009年には横浜ゴムのタイヤ開発・試験能力を飛躍的に強化するために、工場から30km離れた場所にタイヤブルーピンググラウンド・TIRE TEST CENTER OF ASIAを加えました。環境対応を確実にするために、2007年7月にISO14001の認証を取得し、昨年は埋立て処分量をゼロにする完全ゼロエミッションを達成しました。また、TBSタイヤのZ ENVIRONMENTシリーズをはじめとし、PC/LTにおいてもころがり抵抗、磨耗などのタイヤ性能を高次元に高めた環境貢献商品の生産比率を年々拡大しています。

また環境負荷をさらに低減させるために、温室効果ガスの発生を抑制し、省エネルギーを促進するエネルギーマネジメントシステムISO50001の認証取得を目指して昨年から活動しています。YOKOHAMA千年の杜プロジェクトでは3回の植樹を行いました。周辺住民や子どもたち、従業員で植えた21,200本の苗木は、気候の影響で成長が早いタイ国において、既に社となっています。どんぐり拾いからの苗の育成も活発で外部の団体や会社に寄進し、たくさんの方が見学に来ています。環境に関する啓発活動も積極的に行い、女性スタッフが学校を訪問したり野外教室を開いたりして、「緑の大切さ」を子どもたちに教えています。地域に愛され、信頼されている工場で、環境負荷の少ない設備や生産の仕組みで、環境に貢献でき、また社会にも貢献できる事業活動を進めていきます。

## 環境経営の推進

### 環境マネジメント

#### 環境・エネルギー方針

- (1) 環境・エネルギーマネジメントの持続的改善を実現するため、すべての活動分野において環境に配慮した施策に取り組みます。
  - ・環境・エネルギーマネジメントシステムをすべての部門・工程、あらゆる活動に展開します。
  - ・環境・エネルギープログラムを維持改善するため各部門の役割責任を明示します。
- (2) すべての事業活動において環境負荷削減と資源の有効活用に取り組みます。
- (3) トップレベルの環境貢献企業を目指し環境保全に取り組みます。
  - ・地球温暖化防止のため温室効果ガスの排出量削減と省資源を推進します。
  - ・限りある地球資源を守るため、廃棄物の排出量削減と3R (Reduction, Reuse, Recycling) に努めます。
  - ・関連する法規制および同意した協定等を遵守します。
- (4) 地域社会とのコミュニケーションを深め、共生を目指します。
  - ・環境・エネルギーマネジメント活動の社内外における理解に努めます。
  - ・地域の皆さまからのご意見に対応します。

### 環境データ

項目		2008年度	2009年度	2010年度
廃棄物	発生量 (t)	1,579.0	1,793.6	2,205.9
	埋立率 (%)	1.3	0.2	0.0
エネルギー使用量 (原油換算 : kl)	電力	17,579	18,615	22,611
	燃料	6,019	6,684	7,946
	合計	23,598	25,299	30,556
温室効果ガス排出量 (千t-CO <sub>2</sub> )		50.1	53.7	64.9
水使用量 (千m <sup>3</sup> )		516	586	495

※年度：1月～12月  
 ※2008年度より温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。

エネルギーマネジメントシステムISO50001の認証取得を目指して昨年より活動し、2011年5月に第1次監査、6月の最終監査を経て認証取得の予定です。

労働安全衛生

安全衛生方針

安全衛生基本理念

安全衛生はすべての基本であり  
管理者と監督者の強力なリーダーシップと  
全従業員の協力のもとに労働災害防止と快適な職場づくりを目指します。

基本方針

- (1) 安全、健康で快適な設備、職場づくりを目指します。
- (2) 管理者・監督者は不安全状態・行動を見逃すことなく部下の安全を守る責務を負います。
- (3) 職場の一人ひとは職場の決め事を確実に守り、安全に徹した作業を行います。
- (4) 労働安全衛生法を始め関係する諸法令を遵守するとともに、社内規定・基準に基づき従業員の安全を確保します。
- (5) “整理・整頓は安全衛生の基本である”との考えをもとに2Sを徹底します。
- (6) 従業員の疲労やストレスを軽減するため、快適な職場環境の形成を促進します。
- (7) 工場幹部による声掛け運動で良好なコミュニケーションをつくります。
- (8) 安全衛生教育、諸活動を実施し、安全衛生意識の向上を図ると共に、協力会社へも安全衛生方針を表明し、協力を要請します。
- (9) 労働安全衛生マネジメントシステム(OHS)により作業と設備にかかわる潜在的危険を排除し、継続的なリスク低減を図ります。

労働安全衛生マネジメントシステムOHSAS18001の認証取得を目指して昨年より活動し、2011年5月に第1次監査、6月の最終監査を経て認証取得の予定です。

従業員の教育・訓練

従業員が正しい安全知識を身に付け安心・快適に働けるよう、入社時の安全教育に加え作業者への安全意識づくり講習、管理監督者への災害調査技能教育、消火訓練などを実施しています。



災害時の対応

迅速に対応できるよう地域消防署および工業団地消防隊と連携した自衛消防組織を編成。毎年の防災訓練の反省をもとに訓練計画を見直し、消火・救助技術の向上に努めています。



 取引先との信頼関係

サプライヤーとのコミュニケーション

タイ国内の取引先について訪問活動を2009年より開始し、2011年は30社を訪問する計画です。活動を通して対等で公平な協力関係を築き、相互理解と信頼性向上に努め、相互発展を目指します。

 ステークホルダーコミュニケーション

これまで寄せられた主な意見や苦情と対応内容

近隣住民の方からの臭気苦情に対し、脱臭装置の設置(1号機は2010年に設置済み、2号機を2011年8月稼働予定)、守衛による工場周辺の臭気観測、地域の皆さまへの説明会など改善に取り組んでいます。





地域社会とのかかわり

2010年度は以下の活動を行いました。

・2010年7月 近隣の3つの寺院に仏具を寄贈しました

・2010年8月 近隣小学校での  
王妃ご生誕記念  
式典に出席し寄  
付しました



・2010年9月 地域の公営幼稚  
園開園のため寄  
付しました



・2010年10月 近隣の養護施設に寄付しました

・2010年11月 タイ南部洪水被災地への義援金を寄付しました

・2010年12月 地域主催の国王  
ご生誕記念行事  
に参加しました



・2011年3月 近隣小学校に昼  
食を提供しました



YOKOHAMA千年の杜プロジェクト

グリーンウェイ2010の取り組みと呼応し、「国際生物多様性の日」の2010年5月22日に第3期植樹を実施しました。1,120人が参加して9,000本の苗木を植えました。また、2010年6～8月、地域行政主催の植樹活動に延べ130人がボランティアとして参加し、10,000本を植樹しました。苗の提供とボランティア参加に対し感謝状をいただきました。

